共 通 科 目

			授業和	<u></u> 斗目名(≉				専攻・コース					
		ケーショ on IA)	ョンIA		dvanced Research in	International	共通科目						
必修選択	単位	対象年次	学期	曜・限			 						
219211	7-122	7.130 00	3 793	-E 1X	Chris White (Chris W		11/2/						
選択	2 1.2 前期 木3 E-mail chris-white@oita-u.ac.jp 内線 6612												
	概 要												
具体的な	到達目標												
目標1 Bc 目標2 Er 目標3 Cc 目標4 Fc	標 Boost practical listening and note-taking skills 標 Engage in speaking tasks 標 Consolidate understanding of academic lectures 標 Foster presentation skills 標 Improve academic writing skills												
日標0 授業の内	☆												
1	Orientati	on and pl											
	1	tion basic		_									
i .				_	l & Goal Setting)								
					of believing that you can	improve							
				ng a Lang		······································							
		n Presen		-8	uuge								
ł	Lecture:												
		n & TED) Talk										
-		n & Film											
		c writing	-										
	1	c writing	-										
		c writing	-										
l		c writing	•										
	l			(Essay I									
アクティブ	analysis	e reading and discu cative ac	ission of	onsultation a topic, fo	on/evaluation, presentatio orming and supporting opi	n rubric, critical nions, task-based	その他の 授業の工夫	Use of blended learning (Zoom/Moodle), foster ability to express opinions and discuss freely in English (pair/group) work.					
	準備学修	extensive	reading	, commur	ication practice	<u> </u>							
修の内容 と時間の 目安	事後学修	Extensive participa develop	e reading ting in l FOEIC s	g(150,000 lecutures kill and p) words or approximately via zoom and face-to-fac racticing academic writing	20 minutes dailge (depending or techniques.	y reading 1 Covid-1	g), logging work & quizzes moodle, (9) developing a mini-presentation,					
				by teache									
参考書	http://m	reader.or	g/index.p	ohp (exte	worms/Penguin Readers) nsive reading website)	located in the lib	rary.						
	Newspap	ers and/	or article		in English		T Amir A	1					
及び評価割合成績評価の方法	Colo 7001	n Presen	tation		平価方法		割合 30%						
が評	1	n Fresen Exercises					30%						
価価の	Essay	PYCI CIOCO	(1)				30%						
割方	Attendar	nce					10%						
宣法							10,0						
注意事項					n. Absenteeism/Lateness i	s not acceptable.							
備考	開講曜似	について	は、初回	ガイタン	ス時に調整します。								
リンク	URL												
担当教員の実	務経験の有無												
数員の気	実務経験												
	指導に関わ												
る実務経験	検者の有無												
■ 教員以外 関わる宝	の指導に 務経験者												
実務網	圣験を 教育内容	験を											

			Fe2 7117 -	N H ↔ /10	V H = #+-	L + \				1	+ w/
			授 美	科目名(科	斗目の英!	又名)					専攻・コース
	ミュニ unicatio		ンΙC	特研(A	Advanc	ed Re	esearch i	in Inte	rnational		共通科目
必修選択	単位	対象年次	学期	曜・限					担:	 当教員	
2 沙达水	712	7130 100	1 791	FE 130	矢野	英子	(Hideko	YANO		11/2	
選択	2	1.2	前期	月5			-hideko@			内線	7725
授業の概要		文(英語) の周辺文					る)を購	読し、表	を現や構成 <i>を</i>	を学ぶとと	: もに、論文として分析する。英語と
具体的な											
目標1英	語の論文	の語彙、表	長現、文	がわかる。							
		の構造がれ									
目標3英	語の論文	から情報を	と読み取	ることがつ	できる。						
		をまとめて		る。							
		ートを書く									
		の進度を打	□握し、	計画的に	レポート	を進め	る。				
授業の内											
	Introduc										
	英語論文										
3	英語論文	1 購読 2									
4	英語論文	1購読3									
5	英語論文	1 分析									
6	レポート	1 作成									
7	英語論文	2購読1									
8	英語論文	2購読2									
9	英語論文	2購読3									
1	l	2の分析									
11	レポート										
		3購読1									
13	l	3購読2									
		3購読3									
15		.3 解航 3									
10		· ループで	定初 飪	1 合うた	ど協働作	:業を選	して理解	を突める		1	映像や視覚資料を使って理解を深め
アクティブ	, . ,	/V / C1	(田 瓜心) 口口	10日 / な		一木で地	しく生所	で体める) ₀	その他の	る。
ラーニング										授業の工夫	
					-					以木・ハエハ	
	準備学修	論文、関	連資料を	・読んでく	る。(10	h)					
修の内容 と時間の	主公	レポート	をまとめ	ていく。	発表の準	き備をす	る。(15 h	1)			
目安	事後学修										
教科書	授業の際	 に指示す。	<u>る。</u>								
		に指示する									
7 7 1	120710 1 110	, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	- 0		評価方法					割合	
_ 成	レポート	1, 2								45%	
及び評価割合成績評価の方法	最終レポ									45%	
評評	平常点									10%	
価値の											
割方											
1 法											
注意事項	ペアやグ	゛ループで	話し合う	活動にも	積極的に	参加で	きること	。授業中	コの携帯電話	舌は禁止す	⁻ る。
備考	授業形態	は、状況に	に応じて	決定する	。辞書を	必ず持	ってくる。	こと。			
リンク											
927	URL										
担当教員の実	務経験の有無	0									
			w, 🗀 🗕	10/40 **	ナント	/ 1 2411	. 4.24.14	_L 224	エル 計 ン ー・	ひ おと ユニ ひマ m	☆ 切り 1後目 ☆ のおけなりひゃひ
教員の第		海外の大	子、国内	1の他の教	月煖関	(小字校	、中字校	、大字、	私型)での	ク教育経験	
教員以外で る実務経験	指導に関わ 検者の有無										
教員以外	の指導に										
関わる実	務経験者										
実務組 いかした	E駅を 教育内容	それぞれ	の経験を	学生の英	語指導は	よび授	業内での	学生指導	掌に生かする	ことができ	さる 。

授業科目名 (科目の英文名)												専攻・コース			
国際コミュニケーション II B特研(Advanced Research in International Communication II B)										共通科目					
必修選択	単位	対象年次	学期	曜・限						担当	当教員				
選択	2	1.2	前期	木7	安田 E-mail				ke YAS a-u.ac.jp		内線	7728			
1-02	社会学	的アプロ-	-チとは	どのよう	なものな	よのか	を概	観する	とともに	、英語文蘭		1の向上を目指します。			
授 業															
の															
概															
要															
具体的な	到達目標														
目標1 目標2 目標3	目標1 単標2														
目標4															
目標5															
目標6															
授業の内	 容														
	1	要とテキス	ストの紹	介											
1	1	as an Inc			1										
1		as an Inc													
		as an Inc													
5		, as air inc , as a Fori													
1															
1	Sociology as a Form of Consciousness 2 Sociology as a Form of Consciousness 3														
1	中間まと		01 00.	nsciousne	.33 0										
	Sociological Perspective – Man in Society 1														
1	_	cal Perspe			-										
11	_	cal Perspe			-										
12	i .	cal Perspe													
13	_	cal Perspe		•											
14	_	cal Perspe		-											
15	まとめと		.cuvc –	Society II	i wan o										
10	2000	及日													
アクティブ											その他の				
ラーニング											授業の工夫				
		1					1			<u> </u>	1 13 6	()			
時間外学 修の内容	準備学修									うにしてく					
と時間の	事後学修	授業で進/	んた箇所	「までを、	敢 例 かり	っ理説	する	習慣を	身につけ	けてください	, (1H)°				
目安															
				to Sociolo	gy, A F	Iuman	istic	Perspe	ective, A	nchor Boo	ks, Double	eday, 1963			
参考書	授業の最	初に指示し	します。												
					評価方法	Ę					割合				
及び評価割合成績評価の方法		取り組み									40%				
び海	字期末試	験(筆記)									60%				
計品															
割の出															
合法															
注音車頂	この授業	でけかなし	りの量の	革士を読	オロントレ	こたり	+ す	- その	音欲のを	ス学生の受	」 S講を期待	l ⊧l ています。			
備考	事項 この授業ではかなりの量の英文を読むことになります。その意欲のある学生の受講を期待しています。 考 受講希望者は最初の授業に必ず出席してください。														
	2007 10 2	Д 10-12-12-12	× 1,20,101 -	2 / H///	<u> </u>										
リンク	URL														
担当教員の宝	務経験の有無				-										
	実務経験														
教員以外で	指導に関わ 験者の有無														
教員以外	の指導に														
関わる実	務経験者														
実務権	経験を														

			授業和	 科目名(科	 ∤目の英文名)			専攻・コース			
	ミュニ unicatio		ョン皿集	寺研(Ad	dvanced Resear	rch in International		共通科目			
必修選択	単位	対象年次	学期	曜・限			当教員				
選択	2	1.2	後期	月6		n@oita-u.ac.jp		7724			
授業の概要											
具体的な											
	票1 異文化コミュニケーション能力の向上を目標とする 票2]研究方法をある程度まで把握すること。										
				りること。 得できるこ							
					できること。						
目標5											
目標6	- ta										
授業の内		7									
	ガイダン		_ 3/ 3 3/	について							
					と資料収集方法・調	暦本注音車頂など					
1		イスカッ		/ 阴山丘	C 其们 1人未 7 亿	月上仁心于気なこ					
1		イスカッ									
6	発表とデ	イスカッ	ション3								
7	発表とデ	イスカッ	ション4								
8	発表とデ	イスカッ	ション5								
9	発表とデ	イスカッ	ション6								
		イスカッ									
1		イスカッ									
!		イスカッ									
		イスカッ									
			書き方な	どのまと	Ø						
	総合討論		立計を 証	1. 文 3. 3.	リーアわノフレ 調!	題について、それぞれ発		課題に関連する文献を調べ、前もっ			
アクティブ	表をし、	Vi C参与 ディスカ	又版を前ッション	をするこ	と。積極的に発言を	きについて、それてれ先	その他の				
ラーニング							授業の工夫				
時間外学	準備学修	次回学ぶ 成するこ	課題につ	いて文献	を調べ、予習してお	さくこと。関係する文献も	ある程度	まで読んでおくこと。課題を必ず完			
修の内容 と時間の		授業で議	論した課	題につい	 て理解しておくこと	:。授業で学んだ研究方法	よを検討し	、できるようになること。授業で学			
目安	事後学修	んだ分析	方法なと	をある程	度までできるように	こなること	5•				
教科書	特に指定	しないが	、必要な	ものをコ							
参考書		社会日本				开究会編、三元社。2013年	Ē.,				
				Ē	评価方法		割合				
	課題準備						20%				
び評	課題の発						50%				
価価の	課題の完						30%				
割方											
1法											
注意事項	特になし						l	<u> </u>			
			り、具体	的な内容	に変更が生じる可能						
リンク											
, ,	URL										
担当教員の実	務経験の有無	0									
教員の領	上務経験	経験を活	かし、授	業内容を	 多様化して行くこと	•					
教員以外で	指導に関わ										
る実務経験 教員以外	検者の有無 の指道に										
関わる実	務経験者										
実務組											

			授業和	科目名(種	斗目の英	文文	(名)								専:	攻・ニ	1ース		
基礎法	学(Th	ne Basic	Jurisp	rudence	e)										教建	養教育 共通和	育科目 斗目	l	
必修選択	単位	対象年次	学期	曜・限								担当							
選択	2	1.2	前期	火7	秋山 E-mail		習恵子 akiva			o AK ko@o			内線	77	704				
授業の概要	本講義とを目的	は、法学 としてい	<u>の基礎を</u> ます。	- <i>:</i> 有さない												要とな	よる知識	戦を修	得するこ
具体的な	到達目標			-															
目標1法 目標2法	の体系を建文献を	把握する。 検索・収算	集し、そ	の内容を 機能や問題								とがで	`きる。						
授業の内	容																		
2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 アクティブ ラーニング	司法裁刑刑刑民民民法制度のの所件件件争等を会のの中性ののの中性ののの中性ののの中のののののののののののののののののののの	能 ささ 割構のの処理(1) のののののののののののののののののののののののののののののののののののの)))))))	省する事項									その他の 授業の工夫 2 メ を 作月	Ē	る必要	があ♪)ます。		
と時間の目安	事後学修	新闻・一	ユー人な	:とで身近	な法律[门策	思(二門)	7L,)判心,	を持つ) (P c	7 1,0							
	章 全年 4 日 1 十	関議時パ	<u></u>	す。必ず	小肝川	<u>の</u> -	 : 上 た t		1 7-	下々い	,								
				<u>. 9。 必 9</u> [か、資料				川沙		1 6 4,	0								
多为日	旭 丑、多	79 18 18 18 18 18	11 9 0 14				× 9 0						割合	Т					
	評価方法 割合 報告の内容および議論への参加状況 75% 期末レポート 25%																		
注意事項	本講義は	、学部等	で法学系	科目を履	修した。	ے ک	とのない	い者	を対針	象とし	ていま	きす。							
備考					-														
リンク	LIDI	1																	
和小茶日の中	URL																		
担当教員の実																			
教員の第																			
教員以外で る実務経験	食者の有無																		
教員以外 関わる実	務経験者																		
実務組	経験を 教会内容																		

			 斗目名(禾		専攻・コース					
	,	12.70								
日本の	経済と	経営(Japanes	e Econo	omy and Management)	教養教育科目 共通科目					
必修選択		対象年次 学期	曜・限	担	当教員					
必修(秋 季入学者 のみ)		1 後期	月 5	E-mail	内線					
授業の概要	秋季入解を深め	 学制度により入学 ることをめざして	L した留学 いる。		PJMK 掲する基礎的な知識や今日的な論点について理					
目標1 日 目標2 「 目標3 今 目標4 目標5 目標6	目標3 今日の日本の経済や経営に関する基本的論点を理解する。 目標4 目標5									
授業の内	•									
1 2 3 4 5	ガイダンス 日本の経済発展(1) 日本の経済発展(2) 日本の経済発展(3) 日本の経済発展(4)									
6	日本の経 中間指導	済発展(5)								
7 8	中间指導 日本の企									
9	日本の流									
10	日本の地									
11	日本の地	域 (2)								
12	日本の地	域 (3)								
13	l .	会政策(1)								
14		会政策(2)								
15	キャリア	形成支援			T I					
アクティブ ラーニング					その他の 授業の工夫					
時間外学	準備学修									
修の内容 と時間の 目安	事後学修									
教科書	とくに指	定しない。								
参考書	授業のな	かで適宜指示をす								
元 成	1,42 1		Ī	評価方法	割合 1000/					
及び評価割合成績評価の方法	レポート 100%									
注意事項	この授業した留学	は、秋季入学制度 生についても、履	により入 修するこ	学した留学生を対象にしたものであり、秋* とが望ましい。	 					
備考										
リンク	URL									
担当教員の実	務経験の有無									
教員の領	実務経験	·								
	指導に関わ	0								
	検者の有無の指導に	_	について	の課外講義を担当する非常勤講師は、研究	科OBであり、職業安定行政に長らくかかわっ					
関わる実 実務約	務経験者	ている。 キャリア形成支援	について		カトップとして、近年の留学生グローバル人材					